

地域の魅力を通じたカタル場の創造

かたる いんく
【団体名】KATARU inc.

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 活動拠点である玉名市は、加速化する人口減少が深刻です。令和7年4月時点では、約62,000人の人口に対して、令和22年には約52,000人の人口と、約1万人が減少すると推計されています。
- 人口の減少に伴い、若い世代や子育て世代といったこれから地域の担い手も減少し、地域コミュニティの衰退や地域文化の継承が危ぶまれています。
- そのため、玉名地域の魅力を発掘し、発信することで、地域に人を呼び込むだけでなく、今暮らしている方々にも地域の魅力を再発見してもらい、地元を好きになってもらうことで、地元に定着することを狙ったイベント等を展開しました。

取組みの概要

◆ カタル型（参加型）観光案内パンフレットの制作

- ・人にフォーカスし、その人に会いに行ってもらい、地域を巡ってもらうことを目的に持ち運べる文庫本サイズの観光案内パンフレットを制作しました。

◆ 地域文化・資源をカタル会の開催

- ・地域文化や資源に触れる、魅力に気づくきっかけとなるためのワークショップを行う場（カタル（参加する・語る）場）を作りました。

◆ LOCAL MARKETの開催

- ・地域で生産されている農産物を知ってもらう、作り手の思いを伝えるための朝市を開催するとともに、周知用の動画を制作しました。



カタル型（参加型）
観光案内パンフレット
「玉名ニュースタンダード」

取組みの成果・現在の取組み状況

○ 交流人口の拡大

- ・パンフレットに掲載された「人」を巡る新たな流れが創されました。
- ・地域文化・資源をカタル会は、計6回で約6,900名が来場されました。

○ 令和4年度から開催しているLOCAL MARKETは、玉名地域内外にも徐々に浸透し出展者や参加者が増加しています。現在も月に一回開催し、玉名の朝の風物詩になりつつあります。

○ 今後も地域の魅力を発掘し、地元の人が誇れるような、旅人が惚れ込むような地域であることを伝え、地域が活性化する活動を続けていく予定です。



活動拠点「HIKE」の外観



地域文化・資源をカタル会の様子



LOCAL MARKETの様子